

電力広域的運営推進機関 第 482 回理事会議事録

- 1 開催日時 2024 年（令和 6 年）10 月 30 日 10 時 00 分～10 時 52 分
- 2 開催場所 豊洲事務所（江東区豊洲 6-2-15）理事会室（ウェブ会議）
- 3 理事長・理事総数及び定足数 総数 6 名、定足数 4 名
- 4 出席した理事長・理事数 6 名
（出席） 大山理事長、岸理事、田山理事、寺島理事、土方理事、榊谷理事
（監事出席） 千葉監事、古城監事

5 議題

決議事項

第 1 号議案 職員の任命等について

第 2 号議案 2024 年度（令和 6 年度）第 2 四半期合計残高試算表及び債務負担行為報告書について

第 3 号議案 広域機関システム中地域交流ループ対応（詳細設計～立会試験）に関する業務委託の実施及び契約締結について

第 4 号議案 北海道本州間連系設備（日本海ルート）に係る広域系統整備計画における実施案及び事業実施主体の募集について

第 5 号議案 北海道本州間連系設備（日本海ルート）及び中国九州間連系設備の増強に係る計画策定プロセスの進め方について

第 6 号議案 容量市場に係るベースライン等算定ツール機能追加（四次）に関する開発業務委託契約の締結について

第 7 号議案 再生可能エネルギー発電設備（自然変動電源）の出力抑制の妥当性について（中部エリア：2024 年 9 月分）

報告事項

（1）系統アクセス業務の実施に関する規程に基づく実績報告

（2）第 2 四半期に係る内部監査報告について

6 議事の経過及び結果

定刻に至り、定款に基づき大山理事長が議長となり、定足数の充足を確認した後、本会議の成立を宣した。続いて、議案の審議に入った。

決議事項

第 1 号議案 職員の任命等について

岸理事から、2024 年 11 月 2 日付職員 1 名の任命を行いたいとの提案があった。議長から、議案について出席者に諮ったところ、全員異議なく原案どおり承認可決した。

第2号議案 2024年度（令和6年度）第2四半期合計残高試算表及び債務負担行為報告書について

榊谷理事から、広域的運営推進機関の財務及び会計に関する省令第11条及び会計規程第40条の規定に基づき、別紙1～3をもって2024年度第2四半期合計残高試算表及び債務負担行為報告書を経済産業大臣に報告したいとの提案があった。議長から、議案について出席者に諮ったところ、全員異議なく原案どおり承認可決した。

第3号議案 広域機関システム中地域交流ループ対応（詳細設計～立会試験）に関する業務委託の実施及び契約締結について

岸理事から、2026年4月に中地域交流ループ運用を開始するため、広域機関システムで必要となる対応について、第451回理事会（2024年4月17日）の第4号議案で議決された「広域機関システム中地域交流ループ対応（基本設計）に関する業務委託」を実施し基本設計が完了したことにより、開発仕様が確定したことから、詳細設計～立会試験の業務を委託し、本件の委託にあたっては、会計室の随意契約に関する調達業務フローに則り、2017年4月に締結した電力広域的運営推進機関システム開発委託に関する基本契約書に基づき、注文書を発行し個別契約を締結したいとの提案があった。議長から、議案について出席者に諮ったところ、全員異議なく原案どおり承認可決した。

第4号議案 北海道本州間連系設備（日本海ルート）に係る広域系統整備計画における実施案及び事業実施主体の募集について

寺島理事から、北海道本州間連系設備（日本海ルート）に係る実施案及び事業実施主体の募集に係る公募要綱について、本機関会員に対する意見聴取結果及び第84回広域系統整備委員会における議論結果を踏まえ、別紙1のとおり公募要綱を決定し、実施案及び事業実施主体の募集を行うとともに、本公募要綱案に対する意見聴取への回答について、別紙2のとおり公表したいとの提案があった。続いて、事務局から詳細について説明があった。議長から、議案について出席者に諮ったところ、全員異議なく原案どおり承認可決した。

第5号議案 北海道本州間連系設備（日本海ルート）及び中国九州間連系設備の増強に係る計画策定プロセスの進め方について

寺島理事から、第43回再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会（2022年7月13日開催）から要請を受けて、2022年7月20日に開始した北海道本州間連系設備（日本海ルート）及び中国九州間連系設備の増強に係る計画策定プロセスの進め方について、業務規程第54条に規定された事項に関し、2022年8月24日に経済産業大臣へ通知し、これまで広域系統整備委員会等において、両広域系統整備計画の実現性を高めるべく、事業者の意見などを踏まえた丁寧な検討を重ね、計画策定プロセスを進めている。今般、広域系統整備計画の策定までの期間を変更し、業務規程第55条の規定に基づき、計画策定プロセスの進め方について経済産業大臣へ通知するとともに、その旨を本機関ウェブサイトにて公表したいとの提案があった。議長から、議案について出席者に諮ったところ、全員異議なく原案どおり承認可決した。

第6号議案 容量市場に係るベースライン等算定ツール機能追加（四次）に関する開発業務委託契約の締結について

寺島理事から、2024年10月16日開催第480回理事会第1号議案にて実施が承認された「容量市場に係るベースライン等算定ツールの機能追加（四次）に関する設計開発業務委託について」について、契約を締結したいとの提案があった。議長から、議案について出席者に諮ったところ、全員異議なく原案どおり承認可決した。

第7号議案 再生可能エネルギー発電設備（自然変動電源）の出力抑制の妥当性について（中部エリア：2024年9

月分)

田山理事から、業務規程第 180 条第 1 項の規定に基づき、中部エリアで 2024 年 9 月に実施した再生可能エネルギー発電設備（自然変動電源）の出力抑制に関する資料を中部電力パワーグリッド株式会社から提出を受け、当該資料に基づき、中部電力パワーグリッド株式会社の出力抑制が、法令及び送配電等業務指針に照らし妥当であったか否かを確認及び検証した結果、別紙 1-1 のとおり妥当であると認め、別紙 1-2 により公表したいとの提案があった。議長から、議案について出席者に諮ったところ、全員異議なく原案どおり承認可決した。

報告事項

（１）系統アクセス業務の実施に関する規程に基づく実績報告

寺島理事から、2024年10月21日から同年10月25日までの間に、系統アクセス業務の実施に関する規程に基づき、当機関が回答を行った接続検討3件の実績報告があった。

（２）第 2 四半期に係る内部監査報告について

事務局から、2024年度内部監査計画書に基づき実施した内部監査の結果について、監査室内部監査規程に則り、報告があった。

以上をもって議案の審議等を終了したので、10 時 52 分、議長は閉会を宣し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証する。

2024 年 10 月 30 日

理事長 大山 力

理事 岸 敬也

理事 田山 幸彦

理事 寺島 一希

理事 土方 教久

理事 榊谷 亨

監事 千葉 彰

監事 古城 春実